

ここからのページでは、株主の皆様にご紹介いたします。DMG MORIの事業内容、強み、最新の取り組み、中長期で目指す姿等についてご紹介いたします。

経営理念

私たちは、
独創的で、精度良く、頑丈で、故障しない機械、
自動化システム、デジタル技術を、
最善のサービスとコストでお客様に供給することを通して、
ターニングセンタ、マシニングセンタ、複合加工機、
グライディングセンタ、アディティブ・マニファクチャリング、
加工オートメーションで、
グローバルワンを目指す

私たちは、
最新、最高の開発技術、
正確、緻密な生産技術、
的確、迅速な、販売・サービスで、
全世界のお客様の生産性と効率性の向上の為に
不断の努力を行う

私たちは、
よく遊び、よく学び、よく働き、
お互いの意見を尊重し、日々の改善改良を行い、
切磋琢磨して共に成長する

私たちは、
グローバルに展開する企業として、公正でオープンな
企業文化を育み、世界最適経営を実践する

私たちは、
パートナーと共に繁栄する

私たちは、
工作機械産業を理解する株主の為に
企業価値を高め、株主利益の拡大を図る

私たちは、
私たちの提供する商品、
サービスの価格設定が
企業の繁栄、
永続の為に非常に重要であると考えている

私たちは、
将来の研究開発のため、
安定したお客様サービスのため、
継続的な社員教育のため、
環境良く効率的な工場、
安全な労働環境を維持するために必要な
キャッシュフローを得る為に、
適切な利潤を得る

私たちは、
責任ある企業市民として地域、社会に貢献する

私たちは、
環境資源を大切に地球環境を守る

私たちは、
高い倫理観を持って、
社会良識に準拠した企業活動を行う

サステナビリティイニシアチブ



健康経営銘柄に
2年連続選定



CDP 2025で
「Aリスト企業」に
認定



SBTiネットゼロ
目標認証取得



RE100へ加盟



注:「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

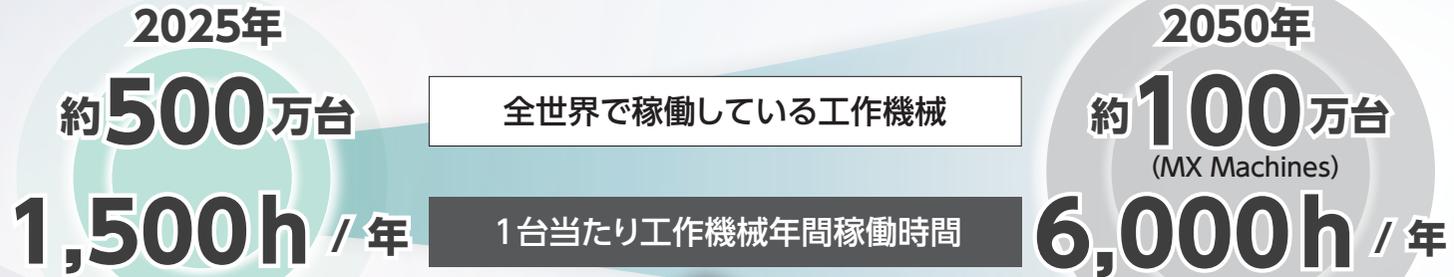
DMG MORIのミッション

お客様価値 × 社会的価値の最大化

社会課題への挑戦

- お客様のオペレーター不足の改善
- お客様の高精度加工実現、生産効率改善
- 多品種少量生産の自動化対応
- 経営資源の最適化
- 環境負荷低減

マシニングプロセスの最適化



MX
MACHINING
TRANSFORMATION

工程集約

自動化

GX GREEN TRANSFORMATION

by **DX** DIGITAL
TRANSFORMATION

機種選定

加工検討

人材育成

機械据付け・立上

生産計画

プログラミング

段取り

加工

モニタリング

計測

サービス

SDMT (Software-Defined Machine Tool) backed by Big Data & AI

自社開発ソフトウェアによるマシニングプロセスの最適化 CELOS X、内製ソフトウェア

超高精度・高剛性・高耐久性の工作機械

DMG MORIのお客様への提供価値

Lifetime Valueの最大化

工作機械の選定から廃棄までサポート、オペレーターの育成支援

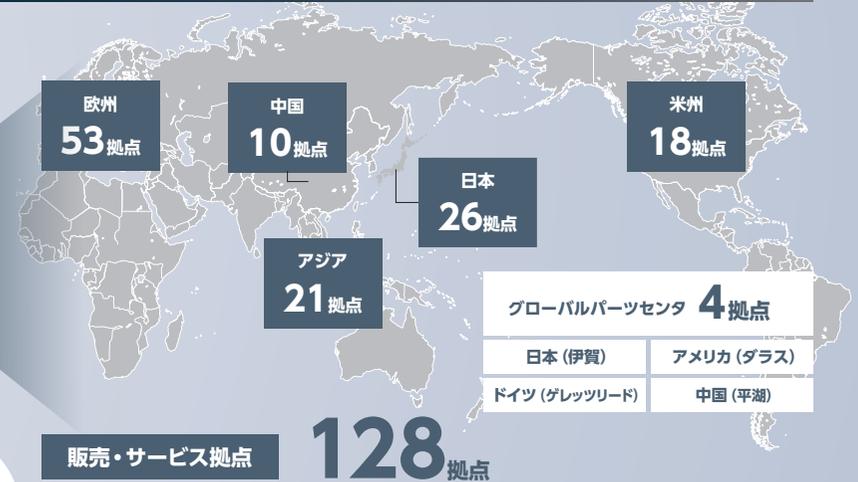
工作機械の選定 / 据付け

工作機械のライフサイクルサポート 長期間の安定稼働



開発
エンジニアリング

MRO



オペレーターの育成支援

DMG MORI Academy: 12拠点

日本: 5拠点 アメリカ: 1拠点
ドイツ: 5拠点 オーストリア: 1拠点

年間20,000名以上のエンジニアに研修

MROエンジニア 約2,200名

myDMG MORI (お客様ポータルサイト)

MRO スペアパーツ

ライフサイクルDMQP

開発 約1,700名 アプリケーションエンジニア 約1,100名

自動化比率 (機械受注に占める割合)

2024年: 23%

2025年: 29%

2030年計画: 50%以上

DMG MORIのコアコンピタンス

グローバル カスタマーベース 約15万カ所

グローバル DMG MORI機 稼働台数 約30万台

直販・直MRO (メンテナンス・リペア・オーバーホール)

ひと目で分かるDMG MORI

主要指標 (2025年実績)

売上収益		
5,150 億円	工作機械	3,620億円
	MRO・スペアパーツ・エンジニアリング売上	1,259億円
	グループ会社売上	271億円

財政状態・EBITDA	
総資産(2025年12月末)	8,690億円
株主資本比率	39.2%
EBITDA	536億円
EBITDA率	10.4%

成長投資額	
設備投資額	295億円
研究開発費	317億円

人材投資		
平均年間給与 (日本単体:2025年実績)	905万円	
新卒想定初任年収 (日本単体:2027年4月入社)	大学院卒 (博士課程)	682万円
	大学院卒 (修士課程)	465万円
	大学・ 高専専攻科卒	400万円
	高専本科卒	370万円

非財務: 主要指標等

充実した製品ラインアップ
<ul style="list-style-type: none"> ●工作機械(5軸加工機、複合加工機、マシニングセンタ、ターニングセンタ、アディティブ・マニファクチャリング、ULTRASONIC、LASERTEC、グライディングセンタ、ボーリングマシン) ●ソフトウェア(ユーザーインターフェース、テクノロジーサイクル、組込みソフトウェア)

連結従業員数
約 13,500 名
<ul style="list-style-type: none"> ●インダストリアル・サービス 約8,600名 ●マニファクチャリング 約4,900名

グローバル・プレゼンス (製造・販売・サービス)
販売・サービス 128 拠点 生産 18 拠点

グローバルパーツセンタ
世界 4 拠点 ●日本、ドイツ、アメリカ、中国

DMG MORI Academy
世界 12 拠点 ●社内外向け技術研修施設 ●オペレーター育成

品質管理
●伊賀事業所、デミング賞受賞(2024年)

サステナビリティ

健康経営
「DMG森精機 健康経営宣言2025」を新たに策定

健康経営宣言2025
DMG森精機は、従業員の健康管理と健康増進を重視し、健康経営の取り組みを推進します。

健康経営 (外部評価)
 経済産業省・東京証券取引所による「健康経営銘柄」に2年連続で選定

温室効果ガス (CO ₂)排出削減目標									
SBTイニシアチブ認定 ネットゼロ目標									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標年</th> <th>2030年</th> <th>2050年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコープ1及びスコープ2</td> <td>▲46.2%</td> <td>▲90%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3</td> <td>▲27.5%</td> <td>(スコープ1、スコープ2及びスコープ3の合計)</td> </tr> </tbody> </table>	目標年	2030年	2050年	スコープ1及びスコープ2	▲46.2%	▲90%	スコープ3	▲27.5%	(スコープ1、スコープ2及びスコープ3の合計)
目標年	2030年	2050年							
スコープ1及びスコープ2	▲46.2%	▲90%							
スコープ3	▲27.5%	(スコープ1、スコープ2及びスコープ3の合計)							

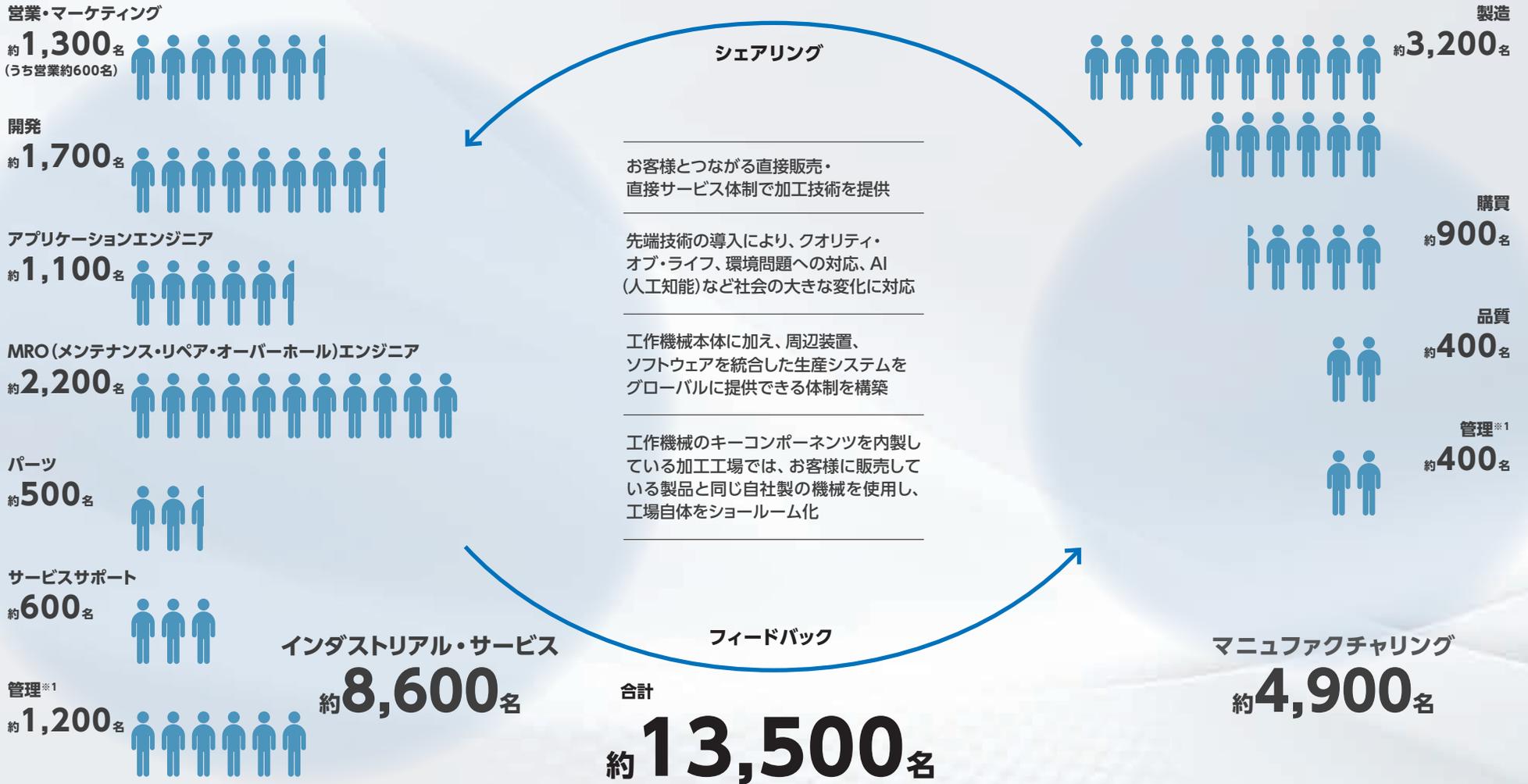
CDP 「Aリスト企業」認定
 CDP 2025 気候変動分野で2年連続「Aリスト企業」に認定 水セキュリティ分野も「Aリスト企業」に初認定

RE100へ加盟
 全世界で使用する電力のうち、RE100適合電力の割合を2040年までに100%にすることを宣言

取締役会構成		
社外取締役比率 50%	女性取締役比率 25%	外国籍取締役比率 17%

DMG MORIの強み：直販・直MRO体制

DMG MORIは、直販体制を通じた商社・エンジニアリング機能と製造機能の双方を併せ持つ、業界でもユニークな事業モデルを構築しています。高精度・高品質な製品をお客様に直接届け、また、お客様からのフィードバックを製造・開発に反映し、お客様価値向上につなげています。

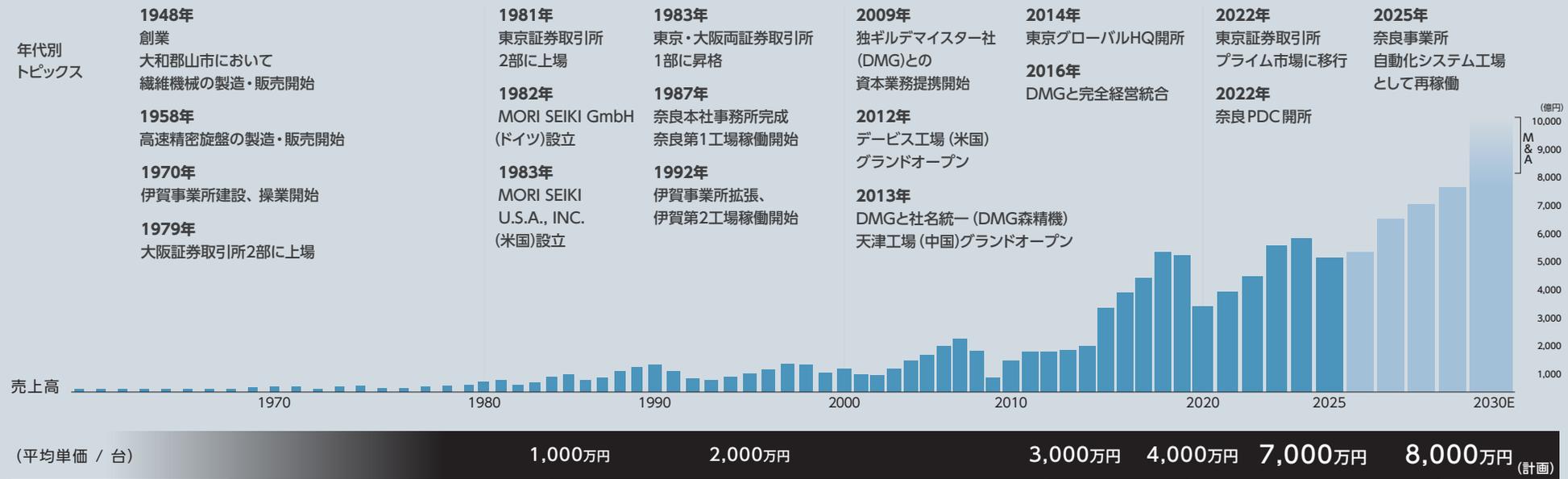


※1 管理:取締役・執行役員等、財務経理・業績管理、IT、人事、広報、法務、内部監査、その他管理部門

社会的ニーズの変遷とDMG MORIの発展

DMG MORIは、約10年ごとに起こる社会的ニーズの大きな変化に応じて、ビジネスモデルを発展させ、提供する製品・サービスを進化させて成長してきました。これからも社会のニーズに的確に対応した価値提供を通じて、さらなる成長を目指しています。

	1960s-70s	1980s-90s	2000s-10s	2020s-30s
社会ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラ整備 高度成長・工業化進展 (大量生産・大量消費社会への対応) 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル生産展開 省エネ省資源対応 (軽量化・小型化製品) 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化 技術者・オペレーター不足への対応 IT (情報技術)対応 多品種少量生産 インダストリー4.0 (コネクティビティ) 	<ul style="list-style-type: none"> ハード・ソフトの融合ニーズの増大 高精度かつ環境技術へのニーズ増加 グローバルな供給網の再構築 工場の自動化 サステナビリティ
DMG MORIの対応	<ul style="list-style-type: none"> 大量生産を可能にする工作機械を提供 数値制御装置付旋盤の製造・販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開 複雑な部品加工を可能にする工作機械を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 高精度・高速・高剛性な工作機械を提供 対話型操作システムの提供 生産工程を効率化する工作機械・ソフトウェアを提供 (自動化システム / アディティブ・マニファクチャリング / CELOS) 	<ul style="list-style-type: none"> MXを提唱 (工程集約・自動化・GX・DX) エネルギー効率のよい製品の提供 ▶ Software-Defined Machine Toolへ



2025年時点
DMG MORIピンテッジ機
全世界稼働台数

1980年代以前の納入機
約5.7万台が稼働

1990年代
約4.5万台が稼働

2000年代
約8.6万台が稼働

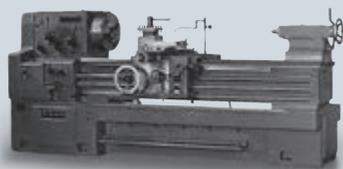
2010年代
約8万台が稼働

2020年代
約3.2万台が稼働

DMG MORI機
全世界稼働台数 累計
約30万台

DMG MORI製品の変遷

1960s 普通旋盤



1970s ターニングセンタ



1980s 立形マシニングセンタ



1990s 横形マシニングセンタ



2000s 複合加工機



グライディングセンタ

(太陽工機のグループ化によりラインアップ拡充)
Vertical Mate 85 2nd Generation



2010s 5軸加工機



2020s～MX(マシニング・トランスフォーメーション): 工程集約・自動化・GX・DX

工程集約機+自動化

INH 63 with AMR 2000



DMU 50 3rd Generation +
MATRIS WPH 70



アディティブ・
マニファクチャリング (AM)

LASERTEC 3000 | 3000
DED hybrid 2nd Generation



ULTRASONIC

ULTRASONIC 20 linear
3rd Generation



ボーリングマシン

(DMG MORI Precision Boringの
グループ化によりラインアップ拡充)
KBT 11W A

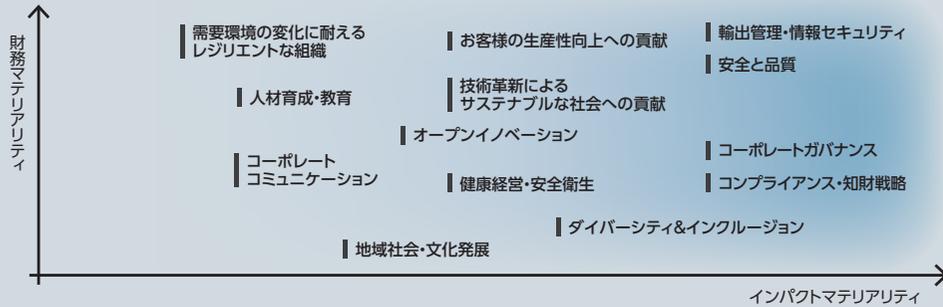


DMG MORIのマテリアリティ

当社では、DMG MORIグループとして取り組むべきサステナビリティ経営の姿勢と、重要課題（マテリアリティ）を特定し、公表しています。

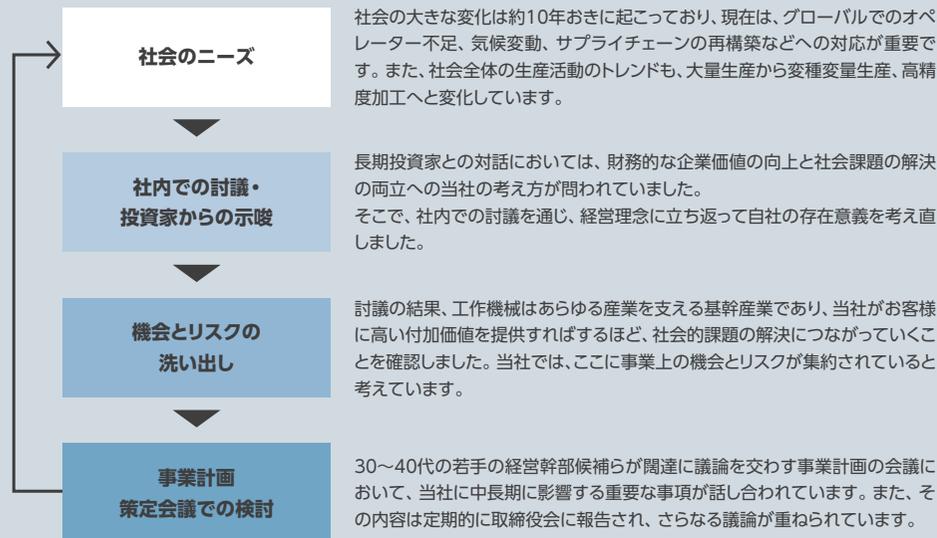
特定した13のマテリアリティは全て重要なものではありませんが、当社が環境・社会に与える影響度と環境・社会が当社に与える影響度の2軸で整理することで、当社にとっての位置づけを明確にしています。

マテリアリティは、外部環境の変化に応じて柔軟に見直されるべきものだとは考えています。今後も特定したマテリアリティを定期的に見直し、柔軟な対応を行っていきます。



マテリアリティ特定のプロセス

当社のマテリアリティ特定のプロセスは以下の通りです。



マテリアリティ詳細	
技術革新を通じた 社会・環境への貢献	1 お客様の生産性向上への貢献
	2 技術革新によるサステナブルな社会への貢献
	3 安全と品質
	4 オープンイノベーション
	5 人材育成・教育

マテリアリティ詳細	
経営基盤の強化	6 コーポレートガバナンス
	7 輸出管理・情報セキュリティ
	8 コーポレートコミュニケーション
	9 需要環境の変化に耐えるレジリエントな組織
	10 コンプライアンス・知財戦略

マテリアリティ詳細	
豊かな社会への貢献	11 健康経営・安全衛生
	12 ダイバーシティ&インクルージョン
	13 地域社会・文化発展

価値創造プロセス

DMG MORIでは、財務・非財務の資本を7つに分けて考えています。

これらは、MXの推進という事業モデルを通じて付加価値の高いアウトプットを生み、新たな経営資源となるという好循環によって増強されていきます。

財務・非財務価値

インプット

人的資本

- 連結従業員数 約**13,500**名
- 従業員国籍 **71** 国籍
- 従業員平均年収(日本) **905**万円

エンジニアリング、販売、MRO資本

- グローバル販売、MRO拠点 **128**拠点
- グローバルパーツセンタ **4**拠点
- テストカット機(全世界) 約**300**台
- MROエンジニア 約**2,200**名
- アプリケーションエンジニア 約**1,100**名

知的資本

- 開発人員 約**1,700**名
- 開発拠点 日・欧・米 **18**拠点
- 研究開発投資 **317**億円

製造資本

- グローバル生産拠点 **18**拠点
- 設備投資 **295**億円

財務資本

- 株主資本(株主資本比率 約39%) **3,405**億円
- 総資産 **8,690**億円

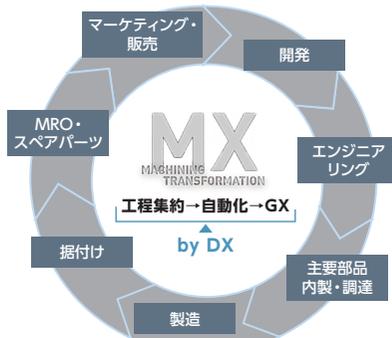
社会・関係資本

- お客様数 約**15**万社
- 累計納入台数 約**30**万台
- パートナー企業 **1,000**社超

自然資本

- 太陽光発電の導入実績(日本) 約**17,000**kW
- 廃却機・切りくずからの鋳物原料化 約**933**トン

DMG MORIのバリューチェーン



価値創造の基盤

ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> • バリューチェーンの垂直統合 • 業界唯一の直販・直MRO • ソフトウェアを含めた内製化
ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> • 日・欧・米の文化融合 • 多様なお客様ベース • 従業員の国籍 71 国籍
オープンイノベーションとM&A	<ul style="list-style-type: none"> • 学術機関との共同研究 • M&Aによる製品ラインアップ拡充 • スタートアップへの少額出資

DXの活用

- SAP S/4HANAの導入：グローバルでシームレスな情報網構築
- グループ会社でのソフトウェア開発
- TULIP (製造IoTプラットフォーム) 活用による生産性向上
- デジタルツイン技術の応用

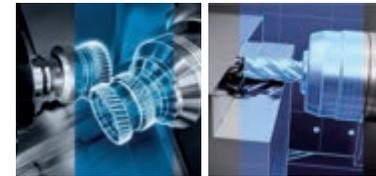
アウトプット

超高精度・高剛性・高耐久性の機械



マシニングを最適化する提案

- Software-Defined Machine Tool



- 自動化ラインアップ

- 最適な加工方法の提案

お客様機械の稼働時間最大化

- One-stop shopping
- 迅速・高品質なMRO
- ライフサイクルDMQP
- 高いスペアパーツAvailability (入手可能性)

環境対応

- SBTi「ネットゼロ目標」への進捗
- サプライヤー・エンゲージメント

社会に提供する価値

お客様の信頼に応える 加工ソリューションパートナー =GLOBAL ONE

- 高精度加工を通じた技術革新
- 経営資源の最適化
- 労働力不足への対応
- デミング賞 受賞

従業員

- 従業員の多様性
- 業界トップクラスの給与水準
- 教育制度充実による個人のスキル向上
- 健康経営銘柄に選定

社会

- オペレーター育成
 - DMG MORI Academy:グローバル12拠点
 - 若手工学系人材の育成支援
 - 学術機関との人材交流
- 工場周辺の環境・景観整備

環境対応

- RE100加盟
- サーキュラーエコノミーへの貢献

DMG MORIの企業価値向上 (持続可能な成長)

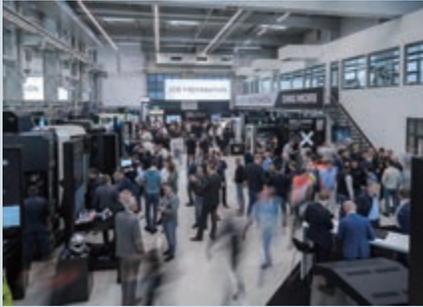
- 売上収益
 - 研究開発投資額
 - 設備投資額
- 業界最大規模の

2025年の取り組み

1Q

1月 JANUARY

- ドイツ フロンテン・オープンハウス開催 (30周年)



2月 FEBRUARY

- 株式会社太陽工機の100%グループ化完了
- CDP2024 気候変動分野で「Aリスト企業」認定

3月 MARCH

- 「健康経営銘柄」に2年連続で選定
「健康経営優良法人 2025 ～ホワイト 500～」に3年連続で認定
- 宮脇機械プラント株式会社を完全グループ化



2Q

4月 APRIL

- 奈良事業所開所、従来比4倍のシステムソリューション工場へ



- 奈良商品開発センター内「AMイノベーションセンター」開所



- 長岡新工場、地鎮祭
- 中国 北京 CIMT 2025に出展



5月 MAY

- アメリカ シカゴ・イノベーション・デイズ 2025 開催



6月 JUNE

- ハイブリッド資本570億円借換え (うち、500億円は8月に実行)

3Q

7月 JULY

- 「国連グローバル・コンパクト (UNGC)」に署名、登録
「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)」に加入

8月 AUGUST

- ドイツ OPEN MIND Technologies AGとグローバル販売契約を締結
- 「RE100^{*1}」へ加盟、オフサイト型バーチャルPPA^{**2} 締結
国内電力需要の約9割の再生エネルギーを長期安定確保

※1 国際 NGO「The Climate Group」がCDPとのパートナーシップのもと運営する、世界で影響力のある企業が再生可能エネルギー100%を目指す国際的な協働イニシアティブ。2050年までに企業が自らの事業の使用電力を太陽光・風力・水力・バイオマス・地熱などの再生エネルギーで100%賄うことを目標として設定しています。
(Webサイト <https://www.there100.org/>)

※2 需要家の敷地外に設置した再生エネルギーで発電された電気由来の環境価値(CO₂排出量ゼロであることを示すことができる価値)のみを提供するサービス

9月 SEPTEMBER

- ドイツ ハノーファー EMO 2025 (欧州国際工作機械見本市) 出展



4Q

10月 OCTOBER

- 対話型プログラミングソフトウェア「CELOS VISUALprogramming 3D」販売開始



- ワーク搬送自動化システム「Robo2Go Open」販売開始



11月 NOVEMBER

- ドイツ HAIMER GmbHとのグローバル戦略的パートナーシップを拡大
次世代の工具管理コンセプトを導入し、DMQP (DMG森精機認定周辺機器)として販売へ

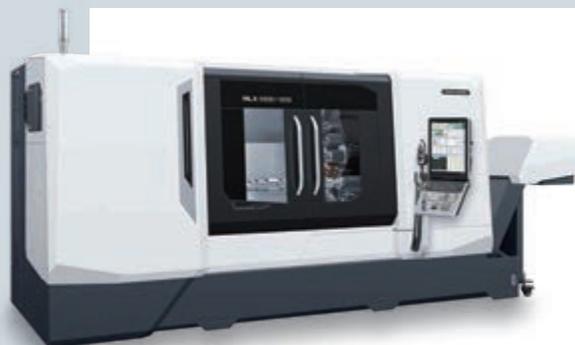


当社 伊賀事業所に導入したHAIMER GmbHの「Automation Cube One」

World Premiere 2025

2025年はWorld Premiereとして、**工作機械 18製品、自動化システム 3製品、ソフトウェア 8つ**をリリースしました。

そのなかでも、MXのコアとなる複合型ターニングセンタのNLX 2500の新シリーズ「NLX 2500 | 1250 2nd Generation」、高精度な5軸加工を実現する「DMC 65 monoBLOCK 2nd Generation」、自動化システム「MATRIS WPH」、自律走行ロボット「AMR 1000」、予兆保全プラットフォーム「Condition Agent」、そして対話型プログラミングソフトウェアである「CELOS VISUALprogramming 3D」をピックアップして紹介します。



NLX 2500 | 1250 2nd Generation

剛性やミーリング性能、デジタルツインによる精度を強化。NLX 2500 2nd Generationに心間1250仕様が追加され、長尺ワークの高精度・高能率加工が可能。

DMC 65 monoBLOCK 2nd Generation

8 m²の設置面積で複雑形状の加工を可能にする、複合技術統合型のコンパクトな5軸加工ソリューション。省スペースの機内一体型RPS 3を含む、多様な自動化オプション対応。



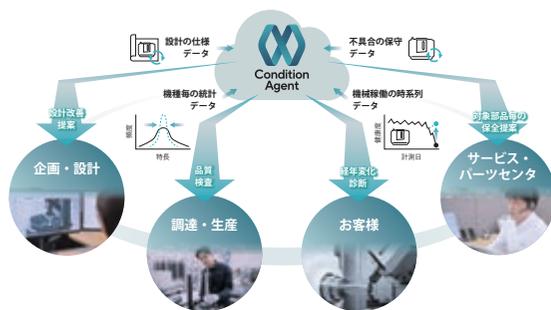
MATRIS WPH

ワークとパレットを自在にハンドリングし変種変量生産の効率的な自動化を実現する自動化システム。ロボットの最大可搬質量は70 kgと210 kgが選択可能。



AMR 1000

自由なレイアウト設計と全方向移動による協働型自動化。最大1,000 kgの工具搬送や切りくず処理など多様な自動化ソリューションとの容易な連携。



Condition Agent

工作機械を自動監視・診断し、予兆保全への転換を実現する保全プラットフォーム。主要構造物の寿命予測と計画保全によるダウンタイム最小化と、保全業務の標準化による安定した管理体制を実現。



CELOS VISUALprogramming 3D

3Dモデルから加工形状を認識し、対話形式でプログラムを作成可能。図面作業と実機確認の時間・手間を削減し、干渉チェックによる安全な加工を実現。